

お待たせしました!!今年も文学賞の展示時期がやってきました。数ある賞の中でもお馴染みの芥川賞・直木賞・本屋大賞・ノーベル文学賞のほか、文芸誌の新人賞、新書大賞、Twitter文学賞、そして文学のみならずビジネス書大賞も加えて、今注目の作品を展示しています。ここに主な内容の一部をご紹介します。

どうぞ手に取ってご覧ください。

展示場所:図書館 2 階開架閲覧室入口

展示期間:2 月末日

世の中には様々な文学賞が溢れています
読書は苦手だな...というあなたも
テレビで ネットで今 話題のあの本に
挑戦してみませんか?

芥川龍之介賞
本屋大賞
直木三十五賞
ノーベル文学賞
Twitter文学賞
ビジネス書大賞
新人文学賞
新書大賞

文学界新人賞
群像
新人文学賞

講談社本田靖春
ノンフィクション賞

最新!文学賞
話題の作品もすぐ読める!

☆ 展示場所 図書館2階 第2開架閲覧室入口 ☆ 展示期間 2019年12月2日~2020年2月末日 ☆

☆「文学賞」といえば、誰もが思いつく賞!

芥川龍之介賞



『文藝春秋』の創業者・菊池寛が友人である芥川龍之介の名を記念して直木賞と同時に1935年に制定。雑誌に発表された、新進作家による純文学の中・短編作品のなかから最も優秀な作品に贈られる賞。

むらさきのスカートの女 / 今村夏子

第2開架閲覧室 913.6||I44 ID: 0872869

近所に住む「むらさきのスカートの女」と呼ばれる女性に気になって仕方のないくわたりは、彼女と「ともだち」になるために、自分と同じ職場で彼女が働きだすよう誘導する…。これまでに見たことのない「ともだちの作り方」が、熱狂的な読者が増加する著者によって唯一無二の視点で描かれる。

直木三十五賞

『文藝春秋』の創業者・菊池寛が友人である直木三十五の名を記念して芥川賞と同時に1935年に制定。新進・中堅作家によるエンターテインメント作品の単行本の中から最も優秀な作品に贈られる賞。



渦: 妹背山婦女庭訓魂結び / 大島真寿美

第2開架閲覧室 913.6||077 ID: 0873472

江戸時代、大坂・道頓堀。成章(のちの半二)は浄瑠璃好きの父の影響で、浄瑠璃の魅力に取り付かれる。近松門左衛門の硯に導かれるように物書きの世界に入り、人形遣いからは何度も書き直しをさせられながらも、それでも書かずにはいられない……。浄瑠璃作者・近松半二の生涯を描いた比類なき名作。

☆リアルに読みたい!本屋さんの声を反映した賞

本屋大賞



『新刊書の書店で働く書店員』の投票で決定。過去1年の間、書店員自身が自分で読んで「面白かった」、「お客様にも薦めたい」、「自分の店で売りたい」と思った本を選び投票する。2004年に創設。

大賞 そして、バトンは渡された / 瀬尾まいこ

第2開架閲覧室 913.6||Se76 ID: 0871817

森宮優子、17歳。継父継母が変われば名字も変わる。だけどいつでも両親を愛し、愛されていた。「私には父親が3人、母親が2人いる。家族の形態は、17年間で7回も変わった。でも、全然不幸ではないのだ。」身近な人が愛おしくなる感動作。

ひと / 小野寺史宜

第2開架閲覧室 913.6||067 ID: 0871727

母の故郷で店を開くも失敗、交通事故死した調理師の父。女手ひとつで一人っ子の僕・柏木聖輔を大学に進学させてくれた母。僕が20歳の秋、その母が急死した。未来が見えなくなった僕がとある総菜屋で、買おうとしていた最後のコロッケを見知らぬお婆さんに譲った。それが運命を変えとも知らずに…。

熱帯 / 森見登美彦

第2開架閲覧室 913.6||Mo54 ID: 0870539

汝にかかわりなきことを語るなかれ——。そんな謎めいた警句から始まる一冊の本『熱帯』。この本に惹かれ、探し求める作家の森見登美彦氏はある日、奇妙な催し「沈黙読書会」でこの本の秘密を知る女性と出会う。そこで彼女が口にしたセリフ「この本を最後まで読んだ人間はいないです。」この言葉の真意とは?